要旨

神母木・山田島領域の空間構成から読む他界観と"死" 風景に"死"を見るという現象の空間的考察

社会システム工学コース 1195075 石上 智貴

本稿は、神母木・山田島領域の風景に"死"を見るという体験、および、その前提となる空間構成と他界観に関わる論考である。本稿における神母木・山田島領域とは、高知県香美市にあり高知平野の東北端に位置する神母木、山田島という2つの集落の総称である。

それら集落の街並みや田畑の種々の風景を眺め歩く中で、それらの風景に"死"を連想することがあった。また、そのような風景との出会いは私の心に充足感にも似た感覚を与えてくれた。"死"に触れるということは本来、恐怖を伴う経験であり、そのような風景も存在する。しかし、一方で温かく包み込まれるように安心感を感じさせてくれるような風景に"死"を感じることもある。このような経験を生み出す要因を知りたいと思ったことが本稿の執筆に至った理由である。

本稿の目的は、風景に"死"を見るという体験および、その前提となる他界観を、集落の空間構成から読み解くことである。あわせて"死"を感じる風景や、その風景を有する対象領域の特質も明らかにしたい。風景に"死"を見るという体験が集落の空間構成という客観的な観点から読み解けるのであれば、単なる一個人の感覚を超えた共有の感覚となりうるであろう。また、"死"を感じる風景が、空間構成を支えている他界観に深く関わるのであれば、それは我々日本人の深層心理にも通じることとなる。"死"を感じる風景の読み解きには、奥深い世界を開示する可能性があるのである

Abstract

Death and Takai-kan(idea of "the world after death") considered through
the spatial composition of Igenoki Yamadajima

Infrastructure System Engineering Course 1195075 Tomoki Ishigami

The objective of this study is to extract Death and Takai-kan (idea of "the world after death") by consideration of the spatial composition in Igenoki-Yamadajima.

Igenoki · Yamadajima means the total area of Igenoki village, Yamadajima village, and their surrounding area. This area is located at the northeastern edge of Kochi plain.

The start point of this study is my experience that I feel "Death" in the landscape of this area. It is just my personal experience. However, if the experience is caused by the spatial composition and Takaikan in this area, it would lead to common experience. That is reason why I try to extract Death and Takaikan by analysis of the spatial composition. I make spatial composition clearly based on field studies and analysis of historical maps. Also I want to extract not only "Death" and Takaikan but also the significance of this area through the analysis.